

さくはら たぬま ふなこし
一般県道作原田沼線 船越工区 供用開始



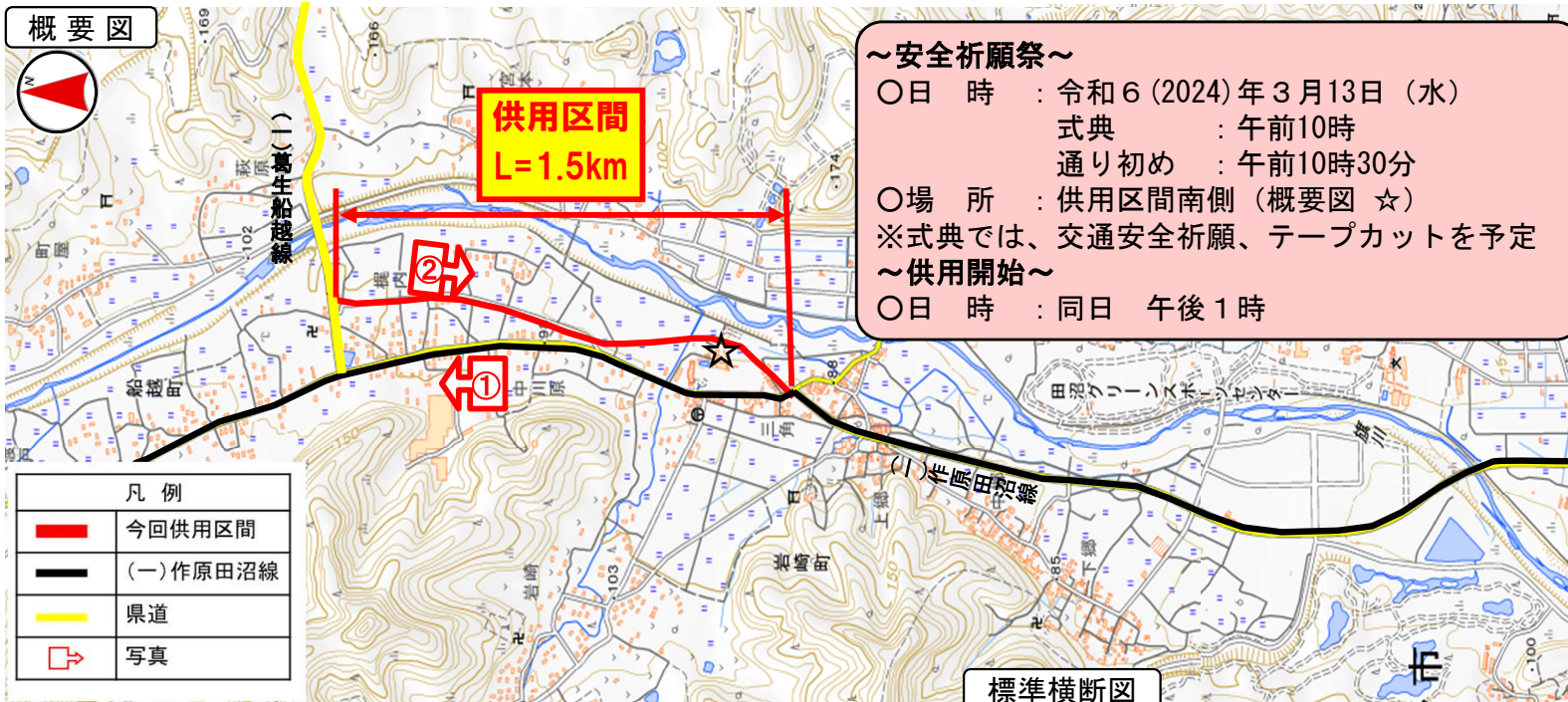
令和6(2024)年3月13日(水曜日)午後1時に、一般県道作原田沼線 船越工区が供用開始しました。

一般県道作原田沼線は、佐野市北西部地域と国道293号を結び、地域産業や日常生活を支える幹線道路です。

県では、佐野市船越町地内（葛生船越線交差部）から岩崎町地内の1.5km区間について、平成27年度からバイパス整備を進めてきており、このたび、3月13日(水)午後1時に供用を開始しました。

当該区間の整備により、通過車両や歩行者の安全で円滑な交通の確保が期待されます。

なお、供用に先立ち、同日午前10時から下記のとおり安全祈願祭を行いました。



～事業概要～

- 箇所名：一般県道作原田沼線 船越工区
- 全体計画：1.5km
- 道路幅員：15.0m(車道3.25m×2車線、歩道2.5m×2)
- 事業期間：平成27年度～令和5年度

①現道の状況



②整備の状況



さくはら たぬま ふなこし
一般県道作原田沼線 船越工区 供用開始



一般県道作原田沼線船越工区L=1.5km区間について、3月13日(水曜日)午後1時に、供用を開始しました。
今回の供用により、通過車両や歩行者の安全で円滑な交通の確保が期待されます。

供用後の様子

中間地点から南を望む



工区南から北を望む

